常磐毎日新聞

軍需景氣の餘波に……
反映する平驛遺失物
代用品のパナマが全盛
現金や小切手も増えた
健忘症の漫畫圖

暑さと共に鐵道の遺失物は最近めつきり増加し平驛における七月中の遺失物は三百餘點に達し一日平均十點といふ數字を示し殊に事變前は餘り現金などなかつたのが最近では度々で中には小切手などありこれも軍需景氣の餘波かと驛員もいつてゐる、品物の中で一番多いのは帽子でその次が洋傘、風呂敷包等で毎年多かつた麥藁帽が最近はパナマ帽に代つてゐるのは今年流行の反映(?)かしかもこれは又いづれも代用パナマだとある

平驛ではこの忘れものゝ整理に困り抜いた揚句驛員をして〃忘れものゝないやうに〃と乗客に呼びかけ注意を喚起するとゝもに待合室に掲示してゐるが或日の如きはこともあらうに遺失物係へ忘れた洋傘を受取りに來た紳士が歸つた後を見るとカン〳〵帽を忘れて行つたといふ漫畫その儘の健忘症の人もあつたといふ

ふの程度の影響で濟むが一寸北へそれると當地方も相當影響がある模樣で

ハイヤーを始め
全部薪炭ガス化
縣から統制強化通牒
平支部が近く役員會

自動車協會平支部ではこの程縣保安課からガソリン統制の強化で自動車はハイヤーはじめ全部が薪炭ガス化する樣にとの通牒が發せられたので近く役員會を開くことになつた、方法は期限を定めて全部を薪炭ガス化しトラックは本年末まで二割以上三割、バスは十月末まで自動車協會平支部ではこの程縣保安課からガソリン統制の強化で自動車はハイヤーはじめ全部が薪炭ガス化する樣にとの通牒が發せられたので近く役員會を開くことになつた、方法は期限を定めて全部を薪炭ガス化しトラックは本年末まで二割以上三割、バスは十月末までに二割五分以上五割、來年三月末までに三割以上七割を、その後適當の期間のうちにこれも全部薪炭ガス化する方針をとることになつたがバス、トラックはともかくハイヤーの全ガソリン廢止には疑問あり實現の如何を注目されてゐる

劍道錬士の
合格者氏名

劍道錬士の審査會はこの程京都本部で行はれたが地方の合格者は左の如くである

△平市桐原英純（菩提院住職）尾崎信興（磐女教頭）三森芳重（第一校訓導）大友能一（第三校訓導）△高久藤谷久太郎△磐炭円谷兼次郎、鈴木三郎△大野草野又藏

颱風を警戒
さて方向が心配
雨量申分なし

平市は目下挙國の氣象警の要視察人となつて居る日早曉から不快な蒸し暑さと意表をついて襲ふ驟雨中だが雨量は神谷農事試驗分場の調査に依ると坪當り五斗三升で此の上荒れさへ伴はねば農家の爲めには正に黄金の慈雨であると

警戒中だが雨量は神谷農事試驗分場の調査に依ると坪當り五斗三升で此の上荒れさへ伴はねば農家の爲めには正に黄金の慈雨であると

天氣豫報
今晩は北東の風雨
明日は北東の風雨模様

二セ勸誘員
保險料を詐取

磐崎村大字下船尾農藤谷宗太郎(五六)は三井生命保險會社の勸誘員と詐稱し四月二十七日同村長倉坑々夫三浦虎雄氏に二千圓の契約をさせこの掛金百二圓を詐取したこと發覺今五日平署に檢擧された

郷土の生める
聖僧袋中上人
大井田幸隆（十）

「淨土三經相傳鈔」を脱稿したのもこの年の十一月であつて、右は大澤文庫に保存されてゐる。

慶長十七年、彼は法然上人への徽號宣下を奏請すべきなりとて増上寺を介して德川家康に上白する處があつた。これは、家康の歸依を受け、又前年七月後陽成天皇に宗要を講說し奉つたとの一事により普光觀智國師の勅諡を賜はる。袋中はこの盛事を臨喜するも、寧ろ法然をこそ先にこれに浴さしむべきであると强調したのである。

同十八年「冬題額聖龜贊」全十六卷及び「天竺往生驗記端書」一卷を編述し、又菩導大師の臨終要決を細釋して「臨終要決私記」一卷を制作した。

同十九年九月十四日に實兄以八上人は七十五歳を亨年として光明院にて報に接して急ぎ下向せしも臨終に遇はなかつた。

袋中六十六歳の夏、又菩導大師の臨終要決を細釋して「臨終要決私記」一卷を編述し、又菩導大師の彌陀像を發見、これを自らの臨終佛と決めた。又た名越派傳書に細釋を加へ「五重要釋」を作つて名越派傳法の指南書となし、且つ傳書を整理し、淨嶽の傳本を法林寺に奉納、道俗五重を初めた。

元和五年六十八歳の夏律門で專修念佛の行者である知友、春智訪を訪ねて各地水室山に遊び夏秋を過し、こゝで明恵の選擇集摺邪輪を見て早速に「選擇集摺邪輪抄書」二卷を製し、これを評破した。この年東山の菊溪に草庵を結び隱棲したが、この谷は祇園に近く、後來は都人士女の遊樂地となる虞ありと豫知し、又門人の管曳、西月等に論される處もあつて、後日にこの庵室を大佛に近い範の谷に移した。これ今の五條坂の袋中庵であり承應元年二月袋中の從姉妹に當る清心尼を庵主として以來、尼僧地となり、今日では京都第一の尼僧寺となつてゐる。寺には琉球神道記、當麻曼荼羅白記等の外に「袋中上人繪詞傳」二卷、其他關係文獻が多く藏されてゐる

同六年、彼が我が岩城在住時代に著はした「大原談義聞書鈔端書」一卷を加除削添して完成、他に「開題考女抄略釋」二卷を述作した。

同七年、袋中古稀を迎へた四月「選擇集摺邪輪抄書」一卷の木版七十部が印刷された。此の本は京都市松本博士の佛教徴古館に一本藏され、伊勢神宮文庫にも在つて現在では「古事類苑」に發表されてゐる。

元和八年袋中七十一歳の高齢にも拘らず尚、壯者を凌ぐ慨ありと見え、夏の頃南都の諸大寺を巡錫、油坂漢國町南町に屋敷を求め、和州添上郡横井村念佛寺の古跡を奈良に移し、再建して降魔山善光院念佛寺と號した。「ゴビ集」によると、同年十月二日に移住したとある。施主は松平越中守である。その頃偶々山城淨瑠璃寺の殿堂修繕のため、一切經を法却するとのことを聞き、袋中これを嘱めてその既卷缺チツせる經論を遺補し、一藏を全備した。

自動車事故
平署嚴重警告

最近自動車事故が頻發これが原因としては(一)運轉手の過勞及び素行不良(二)部分品の不足と新車輛購入不可能による車體の手入れが不完全である(三)經驗に乏しい運轉手が多いこと(四)スピードを出し過ぎる(五)子供を往來で遊ばせぬことなどが擧げられてゐるがガソリン統制で車輛も運行回數が減力してゐる今日ますゝ事故激增の傾向にあることは人的資源の擁護のためにも由々しい問題として平署では警告を發して嚴重取締ることになつた

不幸歸郷
早速献金

植田町本町下山田喜一君は去月二十七日重要任務を帶び勇躍征途についたが此の儘素直に西方に進んでくれゝばせい〳〵けい

防空訓練
綜合講評
平署管内で來る十日

平署管内一市三町十八ケ村警防團の第二次防空訓練綜合講評は十日午後一時から同署會議室で開催されるがこれと併せて水難救濟會の有功章並びに有功章の傳達式が擧行される

點呼の豫習
保護報

十八、九の兩日第一小學校で行はれる簡閲點呼に備へ平市郷軍分會では十四日から三日間同所で豫習を行ふ

平市郷軍
武道大會

平市郷軍聯合分會の武道大會は左記日割で行はれる

△十二日射撃大會（神谷射撃場）△十三日銃劍軍刀術大會（第一小學校）

桑條剝皮
分配金貯蓄

大浦村小學校兒童はこの程六月中行つた桑條剝皮四百五十貫の代金百三十五圓を受取つたがそれ〴〵兒童の取高に應じて分配貯金を勵行させることになつた

運送部員
軍用機へ

小名浜町磐城海岸軌道日素内運送部員高荻政記氏外九十名はこの程四十二圓を醵金小名浜派出所を通じ陸海兩省に飛行機製作費として献金した

改修工事に出役
リヤカーを盗んで遊興

平市鎌田町土工前科一犯岡部政雄(三三)土工太田藤四郎(三三)同力丸力之助(三〇)の三名は市内平窪の夏井川改修工事に出役中去月二十九日夜工事場からリヤカー一臺を窃取岡部はこれを二十圓で賣飛ばし五圓を着服、殘り十五圓を三人で分け鎌田遊廓で遊興したこと發覺四日夜平署に檢擧今五日送局された

海事部出張所の
軍配は江名町へ

江名町では釜石市と石巻海事部出張所の誘致について猛烈なせり合を演じてゐたが主務省では大体明十五年度に於て江名町に設置することに内定したので同町では俄然氣をよくして土地と建物一切を寄附することゝし引續き運動をつゞけることになつた

磐炭が最も好調
東北鑛山對抗試合に

日本鑛山協會仙臺地方常務委員會主催第七回東北鑛山野球並に庭球大會は四日から仙臺市で擧行されたが第一日目における常磐三大炭鑛の戰績は左の如く野球では磐炭が勝

△野球

	磐炭	山入	坂小	好間
人山1—2花岡	0	1	0	0
同1—2好間	3	0	6	1
同1—2日石	1	0	2	3
同2—1尾去澤	0	0	11	0
同2—1小坂	0	0	15	1
好間2—1松尾	0	2	1	A
同2—1入山	0	0	35	5
同1—2小坂	0	2		
同1—2日石	0	0		
同2—1釜石	2	0		
磐炭3—0釜石	3	0		
同3—0細倉	0	0		
同1—2花岡	1	2		
同2—1松尾	2	1		

△庭球（コールドゲーム）

劍道大會
平市出場者

關東北、北海道、樺太の劍道大會は來る二十日京都本部主催で福島武德殿に開催されるが青年部へ平市からは左記代表が出場する

△初段白銀町袖山勝伯△二段村木町長瀬恭輔平驛大和田一雄△三段中町益尾孝七、月見町志賀義一

老婆縊首

草野村大字泉崎農鶴吉さん母佐藤トヨさん(七九)は三日午後十一時頃自宅で縊死をとげた

同人は最近神經痛のため精神が昂奮してゐたところからみて覺悟の自殺をはかつたものらしいと

蠅取競技
雨天延期

支那事變貯蓄債券五百圓割増添附第七回懸賞繩取デーは今五日より二日間擧行される筈であつたが天候不順のため來る十一、二の兩日に延期となつた因に昭和八年度より昨年までの繩捕總數は實に二百五十九萬三千三百八十一匹の巨數で參加延人員は一萬二千二百六十一人に達して居ると

大浦慰問袋
大浦村郷軍分會では第四回目の慰問袋を發送することになり目下とりまとめ中である

平市人事

△出生
△白銀町加二山野邊龍夫氏二女カネ子さん

△婚姻
△茨城縣東茨城郡添岡村大字貝和三三九中村茂外雄氏(六)仲間町八一阿部藤子さん(二六)

ラヂオ

今晩の部

▼後六、〇〇 獨唱と合唱「特選童謡集」伸びろよ子供ほか、望月篤子ほか
▼後六、二五 講演「極東に於けるソ聯の重工業」秋山憲夫
▼後七、三〇 國民歌謡
▼後七、四〇 俚謡「山の俚謡集」廣島縣川西村有志、同西條町有志
▼後七、五五 浪花節「郵く眞節」筑波武藏
▼後八、三〇 特輯講演「事變と國際情勢」勢中野正剛
▼後九、一〇 ピアノ獨奏「シューマンの小品集」
マンフレットグルリット

明日の部

▼前六、三〇 季節の話題「山の話」庄司猛太郎
▼前六、四五 體操「修練道場の朝」山形縣上山町山形縣立國民高等學校より
▼前七、〇〇 修養講話「活人の劍」海軍少將武富邦茂
▼前九、三〇 國民皆泳全國學童水泳大會實況
▼後〇、〇五 國民歌謡「磐野開發」その他⊙傷病將士慰問の午後⊙
▼後一、〇〇 落語「慕の油」春風亭柳橋
▼後一、二〇 講談「孝女お源の仇討」神田山陽
▼後一、四五 漫才「盛夏放談」林家染子、林家染次
▼後二、〇五 浪花節「太助の義俠」東家小樂燕
▼後二、三五 歌謡、曲藝
▼後二、五九 北米西部向海外放送ラヂオ風景
▼後六、〇〇 子供の時間小きな音樂會「趣味講演」アマゾン河の珍らしい生物一農博日野殿
▼後六、三〇 日曜特輯ニュース演藝
▼後八、〇〇（新京より）滿ソ國境を行く
▼後八、三〇 特輯講演「興亞産業の建設」平生金三郎
▼後九、〇〇 詩吟「雲井龍雄と釋大俊」詩吟佐々木孝善、物語前田晃
▼前六、三〇 體操

開封に見る郷土兵
日滿支一体の新機運が動く
東京朝日特派員　佐藤太郎君發

川崎文治樣暫く御無沙汰してをりました、渡支以來兎に角に十度に達する酷暑でさき程まで夜分でさへ部屋の中ではまるで蒸風呂や乾燥機のなかで住まつてゐる樣なものさすがの私も寒國育ちだけに面喰つたですが此今は餘程暑さが和らぎ朝晩メッキリ涼しくなつたです八月になると高粱畑もぼん來るさうです最初は新郷といふ田舎柄に居りましたが開封は仙臺位の人口で電燈が明るくそれでアカシヤの並木があり北支屈指の都會で住心地もよい、新黄河の流も見たし徐州攻撃戰の古戰地も訪れ皇軍勇闘の跡も訪ねました、占領僅かに一年ですが河南昌黎線も日滿支一體の理想が揚げられて徐々と新しい氣運が動いてゐます。

福島出身の兵達もときく〳〵逆信部に來ては多活に郷土を偲んでをります

内郷出身の江連典兒君（元平土木出張所技手）ときき程軍曹に昇進したと酒瓶をブラ下げて來ましたが久し振りなんで開封隨一の支那飯店又一樓にゆきメートルをあげたわ〳〵、磐中出の劍道五段小澤（平市内）も特務兵から上等兵に拔擢されていま〇〇の第一線で頑張つてゐます野戰で福島の便りをきくとべら棒に懐かしくなりいろ〳〵遠慮から忘れ難い半ですもの……實は既に任期も來てゐるのだが社は北支向きと思つたがいまだに歸社命令が來ず現在はサーヴス氣分でゐる譯で大体八月中旬には歸れるさうだから八月に入つたら南京より上海へと遙ぐのして上海から快々的に歸る豫定、けふは珍らしく机を整理中貴方の御手紙が出て來たので暑中見舞をかね御無沙汰のお詫にしようと筆をとつた譯です

＝後略＝（七月廿六日開封發）

父安孫子才三郎儀病氣の處療養不相叶八月五日午前七時四十五分永眠仕り候間生前辱知諸彦に謹告仕り候

追而送葬の儀は來る八月七日午後四時より五時迄の間自宅に於て告別式執行仕り候

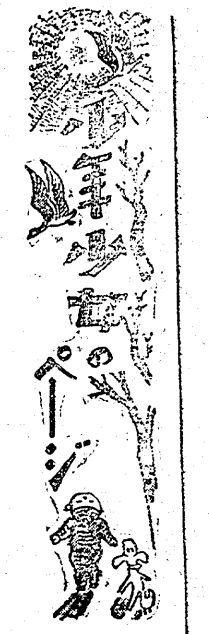
昭和十四年八月五日
平市立町四番地
嗣子　安孫子才三郎
外親戚一同

メガネは！
玉屋
平市二丁目

戰國閑言傳
大井沢山科一郎作画

第四十五回
切腹（一）

「腹は腹腔だと思ひ、それに腹の字がつくから腹だと思ひ、それに腹の字がつくから腹だと思ひ、それに腹の字がつくから腹



……子供小話……

音の人の話

太郎「音の人はいくつかほがあったの」

父「今と同じ一つだよ、なぜ」

太郎「だって活動でみたら機械にあわせるかほがないつていつてんだもの？」

少年少女の理科勉強室

眞夏に多い龍巻と旋風 どうして起るか

眞夏になると氣候にいろ〳〵の變化が降ひ信さんが驚かれるやう現象がよく起ります。ところで今日は、その一つ「龍巻」についてお話いたしませう。地方に住んでゐる人は、雷雨の時などでゴロ〳〵と砂がうづを巻いたかとおもふと、それが皆さんの背の高さ位までうづを巻いたまゝ上つたりするのを見ることがありませう。あるひは樹が足をすくはれてフワフワと地上二米ほどの高さに舞ひ上げられたりすることもよくあります。これが旋風（ツムジカゼ）といふ現象ですが、旋風が更に大仕掛けになつたものが龍巻です。遠くからながめるとその雲あがる様子が龍が昇天する有さまのやうだといふ形容からおこつた名稱です。

龍巻はどういふわけで起るのか申しますと、一口に云へば「空氣の亂調」です。これをもう少し詳しく云へば、上空におこつた空氣の亂調のために、その中心の氣壓が低くなります。それがためその部分の周り、下層から氣壓のひくなつた部分に吸込まれた空氣がその觸になる部分のまわりで急旋回をはじめ、あたりの空氣をひつさらつてグルグルと廻りながら上昇します。その時、地上の砂ほこりや輕い物が、時によつては外においてあつたタライやバケツ、郵便箱などが吹上ることさへあります。これは地上におこつた時の話ですが、川や湖邊や海の上におこつた場合には、魚を吹きあげてかなり遠つてゐる思ひがけない地方へ放りなげる場合さへあります。

龍巻を遠方から見てゐればうづ巻は白色、灰色、褐色などの柱が靄のやうなかつかうをしてグルグル巻きながら上昇する様のやうな恰奇な形を見ることが出來ます。場合によると、二條の龍がからみあつてあがつて行くやうにも見られます。

（二）

いつたい、龍巻に高さとのくらひの大さがあるかと申しますと種類の解釋によつて申しますと種類の解釋によつて數十米位、中心に百米に及ぶと云ふことがあります。

龍巻についておもしろいことは北半球においてはうづのまきかたが左巻りが多く、その他の地方では右巻その反對となることのことではいます。歐洲では歐や峡谷の人の話、伊豆の龍巻は多ミシシピー河（米國）の流域はすばらしい龍巻がおこるやうに。なお餘談になりますが、皆さんが砂遊場などを作る時ミンブのに砂糖水などを入れ、これに砂をそゝ中サジでガラ〳〵かき廻しておいてサジを引きあげて見ますとんことがおこるでせう。賭ちに中央なにおいてくる〳〵とうづをまき

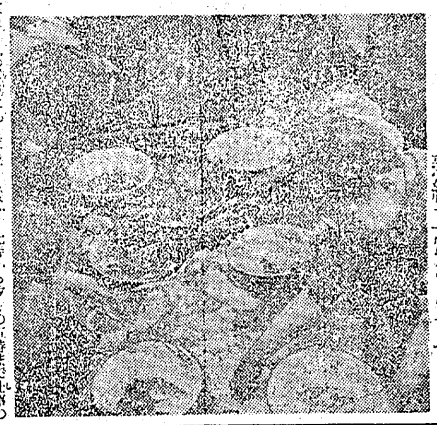
地名物語

パリ

英國と仲のよいフランスの首都パリは、インデアンの旅名パリシイから轉つた名で「強い者」といふ意味だそうですが、現在パリジャンといふと伊達者のことのやうに思はれてゐるので何か不思議な氣がします。

ぼくの見學

熟練工になるまで



東京市内の鉄鋼にあつた鉄鋼工業所です。高等小學校を卒業して一ケ月行と油にまみれて鉄鋼一人前の機械工になるところです。

○

午七時から夕方の五時まで仕事の間にお鐘のおやすみが四十分あるだけで休日は第一日曜と第三日曜の二回。丁度工場と同じです。

そのやう鉄鋼部とをなしておかう鉄へ入つてからすぐいやになつたり、ふきかたりして逃げてしまひます。それではその回顧ぶりを見せていただきませう。

○

鉄鋼の鉄鋼工。英語鉄鋼はもちろん鉄鋼や鉄鋼もありますが鉄鋼工を目指してゐるだけに鉄鋼の時

次の三月間は鉄鋼が半分、ハンマーのふりかた、ヤスリのかけかたなどを鉄はります。ハンマーふりもなかなか鉄管がつかず自分の手を思ひ切りたゝいて「痛い」とベソをかきながら鉄鋼へかけこむのも少しの辛抱。あとの半年は夜業の鉄鋼もあつて一人前の職工さんと同じやうな訓練です。機械に取組んでゐる姿はもうリッパな職工さん。

ベルトがうなり、鉄鋼が鉄管の合鳴をする中で背鉄鋼を片手に片手にハントルをにぎる姿はもはやリッパな鉄鋼工です。かくして年は若いが、天晴工業日本の鉄道に拍車をかけるリッパな鉄鋼工。

面白い萬歳の由來

バンセイといつたころもある

初めは憲法御發布の日

鉄鋼といふ言葉は昔はバンセイとマンザイの二通りによまれてきたのです、バンセイの方は物を祝ふときに用ひられ、マンザイは音樂のなまへやや三流萬歳などに使はれてゐたのですマンザイ樂（ラク）といふ言葉は今でもありますこのやうに「萬歳」といふ言葉は古くから使はれてゐたものですがこれがバンザイとよまれるようになつたのはまだ新しいことです

○……皆さんは明治廿二年二月十一日に大日本帝國憲法が發布になつたことをよく知つてゐらつしやいますね。この日は日曜日なので代々木練兵場で大祭式がとり行はせられることになりました

そこで東京帝國大學の學生を始め官立の高等學校の生徒が二重隊にあつまつて歓迎天皇のおでましをまつてお喜びを申あげることになつたのです、ところがただまつて歓を下げただけでは物足らないと云ふことになり何かよい言葉がないかと考へてゐたところ、文部省から「萬歳、萬々歳」と云つてはどうかといつて來たのでやつて見た所がどうもおもしろくのりません帝國大學の先生がたがおしらべになつたところ「萬歳萬々歳」と云ふ言葉がみつかりました、そこで早速學生を歓迎場へあつめて先生が先だちになりその歓迎を唱えることになつたのですがいざこの言葉を唱えようかといふ段になるとハタと困つてしまひました

ベンセイ、バンセイといふのも變だし、マンザイマンザイはなほ變です

○……この時文部大臣樂で歓迎の非常にうまい外山正一といふ先生がおりました。この先生は何かやる兄ちやん――きれいな鉄がなくて、さぞかお困りでせうね。しかしこれもお天皇さまの御ためです。わるい安藤軍曹やつゝけて下さいそして鉄鋼で苦しんでゐる可愛さうな安藤軍曹をたすけてあげて下さい。私たちはおうちで心に銃後の誓ひを固めます。この鉄鋼鉄鋼を送りましたのときまくしたか。その中には私の鉄方が入つてやりますからみて下さい。兄ちやんを「あつ」と云はせやうと思つて一生懸命に書きました。また兄ちやんの大好きなマルボーロも入れてやきましたからお送と一緒に食べてください。お姉ちやんは今大分へ行つてをりますゝ。ゝさい姉ちやんはもうごはんがたけるやうになりましたし私ももうすぐたけるやうになりますから早くお時さきを樂にしてあげたいと思ひます。ですから兄ちやんも家のことは心配なく一生懸命に闘つてください。

それから兄ちやんは一等兵になつたそうですねこれから一そう鉄鋼してください。

識もどこ

○……長鉄鋼さんは鉄鋼の鉄鋼をする時や鉄鋼地を占領したときはきつと「天皇陛下萬歳」をさけびました鉄鋼は人を見送つたり、大變うれしい時にもよく萬歳を唱へます萬歳と云ふ言葉は、もと支那からきたものですが、日本では大變古くから使はれてゐます

しかしよみかたについてはおもしろい話があります

萬歳といふ言葉は昔はバンセイとマンザイの二通りによまれてきたのです、バンセイの方は物を祝ふ時に用ひられ、マンザイは音樂のなまへやや三流萬歳などに使はれてゐたのですマンザイ樂（ラク）といふ言葉は今でもありますこのやうに「萬歳」といふ言葉は古くから使はれてゐたものですがこれがバンザイとよまれるようになつたのはまだ新しいことです

○……皆さんは明治廿二年二月十一日に大日本帝國憲法が發布になつたことをよく知つてゐらつしやいますね。この日は日曜日なので代々木練兵場で大祭式がとり行はせられることになりました

そこで東京帝國大學の學生を始め官立の高等學校の生徒が二重隊にあつまつて歓迎天皇のおでましをまつてお喜びを申あげることになつたのです、ところがただまつて歓を下げただけでは物足らないと云ふことになり何かよい言葉がないかと考へてゐたところ、文部省から「萬歳、々々」と云つてはどうかといつて來たのでやつて見た所がどうもおもしろくのりません帝國大學の先生がたがおしらべになつたところ「萬歳萬々歳」と云ふ言葉がみつかりました、そこで早速學生を歓迎場へあつめて先生が先だちになりその歓迎を唱えることになつたのですがいざこの言葉を唱えようかといふ段になるとハタと困つてしまひました

ベンセイ、バンセイといふのも變だし、マンザイマンザイはなほ變です

○……この時文部大臣樂で歓迎の非常にうまい外山正一といふ先生がおりました。この先生は何かやる兄ちやん――きれいな鉄がなくて、さぞかお困りでせうね。しかしこれもお天皇さまの御ためです。わるい安藤軍曹やつゝけて下さいそして鉄鋼で苦しんでゐる可愛さうな安藤軍曹をたすけてあげて下さい。私たちはおうちで心に銃後の誓ひを固めます。この鉄鋼鉄鋼を送りましたのときまくしたか。その中には私の鉄方が入つてやりますからみて下さい。兄ちやんを「あつ」と云はせやうと思つて一生懸命に書きました。また兄ちやんの大好きなマルボーロも入れてやきましたからお送と一緒に食べてください。お姉ちやんは今大分へ行つてをりますゝ。ゝさい姉ちやんはもうごはんがたけるやうになりましたし私ももうすぐたけるやうになりますから早くお時さきを樂にしてあげたいと思ひます。ですから兄ちやんも家のことは心配なく一生懸命に闘つてください。

それから兄ちやんは一等兵になつたそうですねこれから一そう鉄鋼してください。お姉ちやんは今大分へ行つてをりますゝ。ゝさい姉ちやんはもうごはんがたけるやうになりましたし私ももうすぐたけるやうになりますから早くお時さきを樂にしてあげたいと思ひます。ですから兄ちやんも家のことは心配なく一生懸命に闘つてください。

兒童文藝

おにいさんがんばれ

井口えつ子

兄ちやん。お元氣ですか。私たちも大元氣です。この頃は毎日水泳にゆくので、もう大分色が黑くなりました。そちらは大變暑いさうです。

あまり暑いので手の平でピフテキができはしませんか、――その暑さの中で一生懸命働いていらつしやる兄ちやん――きれいな鉄がなくて、さぞかお困りでせうね。しかしこれもお天皇さまの御ためです。わるい安藤軍曹やつゝけて下さいそして鉄鋼で苦しんでゐる可愛さうな安藤軍曹をたすけてあげて下さい。私たちはおうちで心に銃後の誓ひを固めます。この鉄鋼鉄鋼を送りましたのときまくしたか。その中には私の鉄方が入つてやりますからみて下さい。兄ちやんを「あつ」と云はせやうと思つて一生懸命に書きました。また兄ちやんの大好きなマルボーロも入れてやきましたからお送と一緒に食べてください。お姉ちやんは今大分へ行つてをりますゝ。ゝさい姉ちやんはもうごはんがたけるやうになりましたし私ももうすぐたけるやうになりますから早くお時さきを樂にしてあげたいと思ひます。ですから兄ちやんも家のことは心配なく一生懸命に闘つてください。

それから兄ちやんは一等兵になつたそうですねこれから一そう鉄鋼してください。お姉ちやんは今大分へ行つてをりますゝ。ゝさい姉ちやんはもうごはんがたけるやうになりましたし私ももうすぐたけるやうになりますから早くお時さきを樂にしてあげたいと思ひます。ですから兄ちやんも家のことは心配なく一生懸命に闘つてください。

星までの距離

きれいな星のかゞやき。ルリ色の空を仰いでお星までの距離を考へる人もありませう。もし飛行機で行けるとしたら、一時間の位の日數がかゝるか。飛行機の速度を一時間三百キロとして、太陽の距離をしてみました。太陽までのお距離

○地球と月までは、一六八六年。
○地球と金星までは、一六八六年。
○地球と水星までは、一六八六年。
○地球と火星までは、一六八六年。
○地球と木星までは、一六八六年。
○地球と土星までは、一六八六年。
○地球と天王星までは、一千五十年。
○地球と海王星までは、二百四十六年。
○地球と冥王星までは、一千五百年。
○地球と太陽までは、五十四億五千万哩。

お月様までは、三十四万哩。

王星ですが、唯今に擧げますと次の通りになります。

○海王星まで、一六八六年。
○天王星まで、一千五十年。
○土星まで、二百四十六年。
○木星まで、一六八六年。
○火星まで、一六八六年。
○太陽まで、一六八六年。
○月まで、一六八六年。

お月様までは五十四億五千万哩です。

第九十八回 戰傷（九）

國を出てから幾月そ
とも已死の眠でこの馬と
敵の捕へた山や
取つた手綱に血が酒ま
鐵鋼鉄部から、鉄鋼行進曲の
歌が聞こえて來る。白衣の勇士た
ちの中から、歌に合はせて吹く口
笛が、とぎれ〳〵に聞る。またす
つかり傷えないために、鉄鋼鉄た
ちの取ふ歌につけて吹くのである。
「君はあの歌知つてるかい？」
鐵山は隣の勇士に聞いた。

「知つてるわ。ラヂオで、鐵
都古したんだもの」
「さうかい、い、歌だね、歌へて
くれ、先づ國歌を歌へてくれ」
「國を、出てから、幾月そ、ともに死ぬ眠でこの馬と……」
傷兵手が小さな聲で、歌へてゐる。
「歌にも歌へてください」
といつて、鐵鋼の上に半身を起した。
「さうだ、みんなで歌へてくれよおーい、みんな歌のシスターが、鐵鋼行進歌を今から歌ます」
鐵山が大きな聲で叫んだ。
「シスターつて何だい、い、人のことかい。歌よりも、それを先づ聞かしてくれ」
「たのむよう」
「聞聞々々」
そんな聲さわがしく起つた。傷兵手は鐵を真ッ紅にして笑つた。
「鐵目だわ兄さん。あたしに聞くから、兄さん聞んでね」
「さうかい、君が歌へたがいゝんだがなア」
和田陸軍兵がいつた。
「さう、でも、あたくしたら、まだすつかりは歌えないんですもの」
看護婦は、さういひながら、コップに用意した鐵鋼鉄を一本一本、白衣の勇士に配して歩いた。
「いらつしやいませ」
看護婦鐵鋼は、傷兵手の前で、丁寧に挨拶をした。
「お世話さまでございます」
傷兵手は、心から感謝する鐵待でいつた。わづか二日間の中、傷兵手は鐵鋼鉄たちとも、看護婦さんたちとも、十年の知己のやうに親しくなつてゐた。
鐵鋼が一通りすむと、又、歌聞を聞み上げる鐵山の聲がひびきわたつた。
「まつて下さい。歌のお上手な、大村さんを呼んで來ますわ」
看護婦鐵鋼はさういつて、鐵鋼の方にとんで行つた。

花柳病科外科
木村外科醫院
平市南町（警察署通り角）電話三〇九三番

吉田眼科醫院
平市紺屋町電話六八八番
醫學士 吉田久雄

フケで頭の痒ゆい方に……
三共のサボイド石鹸の常使用をおすゝめ致します。
本石鹸は最上の薬料により調製せられた硫黄コロイド石鹸ですから、其他あらゆる疲腐病のもが用ひてよろしく、又、皮膚病の防止目的にて常用されれば美容と衛生の上から非常に喜ばしい効果をもたらします。
1ケ20セン
三共株式會社代理店
西村屋藥局
平市本町二丁目 電話三番

開院
歯科全般
口腔外科
歯列矯正
平郵便局ウラ通り
平市南町四十五
鈴木歯科醫院
東京歯科醫學士 鈴木與一郎

公休日變更
一、第一組（毎月第二水曜日）
一、第二組（毎月第二木曜日）
右之通り即日實行致します
その都度「公休」の札を掲げます。
八月四日
平料理屋組合
平藝妓屋組合

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平市南町一六（電話一七〇番）

食通好みの……
フルーツ入
ひや麥!!!
季節向、客膳用に最適、お待兼の〝ひやむぎ〟を始めました御試食の御願いたします。
やぶそば
電話四番

病室增築、手術室完備
醫學博士
婦産科
五十嵐雄一
平市新川町 電話三六九番

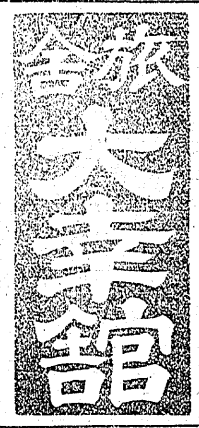
◎女車掌
（三名至急募集）
1、未經驗者二限ル
2、委細面談
3、優遇ス
平市二丁目
三井タクシー
電六八五番

男女理髮 助手入用
【履歴書送レ】
東京市荒川區町屋一ノ六一二番地
カネカワ理髮館
電話下谷（83）三一三

新鰹節
と〝美味〟しい
うにの
罐詰
魚屋
志賀盛藥商店
平市四丁目（電話二一三番）
日本生命平代理店

冷たい！美味しい！
……夏の飲もの！
アイスクリーム・ミルクセーキ
ソーダ水・クリームソーダ
其他氷水各種
御座います是非夏の夕御散歩歸へりに御立寄り下さい。又いくらでも御持ち帰り致します。
配達、迅速
平二警察署通り
鳥清食堂
電話六三三

高久病院
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥師 佐竹菊雄
平市田町 電話五一三番
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科
――◎産婦人科全廢――



私は平市出生ですから特に郷里の皆様方の御御便宜を図ります
主人 比佐棟雄
東京上野櫻木町（下谷郵便局横通角）
電話下谷六七七番

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古なお奬め致します
入會隨時 平市田町六九
喜多流 謠曲 仕舞
白土會
電話二二七番

專門
花柳病科
婦人科
産科
入院隨意
井坂醫院
平市田町 電話五五九番